

別紙

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

事業者名：株式会社 トッパンコミュニケーションプロダクツ

事業所名：福山工場（株式会社 トッパンコミュニケーションプロダクツ）

(2) 事業所の所在地

〒720-2113 広島県福山市神辺町旭丘4

(3) 業種

業種名：オフセット印刷業（紙に対するもの）

事業コード：1511

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成29（2017）年度を基準年度とし、
令和2（2020）年度から令和12（2030）年度までの10年間とする。

3 計画の基本的な方向

トッパングループ 2030 年度中長期環境目標

①脱炭素社会への貢献

温室効果ガス排出 Scope1+2: 2017 年度(1,373 千 t)比 32.5%削減(446 千 t 減 再エネ比率 6.5%)

温室効果ガス排出 Scope3: 2017 年度(6,122 千 t)比 20%削減(1,224 千 t 減)

②資源循環型社会への貢献

廃棄物最終埋立量: 2017 年度(7,407t)比 60%削減(4,444t 減)

廃プラスチックのマテリアルリサイクル率: 2017 年度(53%)比 12%増(65%)

③水の最適利用

水使用量の削減、原単位の改善 及び 水質汚染リスクの回避

（定量目標は今後設定予定）

※3 温室効果ガス排出Scope1,2,3 について

Scope1: 自社での燃料の使用や工業プロセスによる直接排出

Scope2: 自社が購入した電気・熱の使用に伴う間接排出

Scope3: Scope1およびScope2以外の間接排出（サプライチェーンを含む事業者の活動におけるその他の排出）

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度 平成（ 29 ）年度	直近年度 令和（ 5 ）年度
二酸化炭素	5,863	4,967

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度 平成（ 29 ）年度	直近年度 令和（ 5 ）年度
二酸化炭素	237	211

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度 平成（ ）年度	直近年度 令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス （ HFC PFC SF ₆ NF ₃ ）		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 (29 年度))	削減目標		目標年度 (令和 (12 年度))
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	5,863	32.75	1,920	3,943
非エネルギー起源CO ₂	237	40.5	96	141
メタン				
一酸化二窒素				
その他 温室効果ガス				
温室効果ガス 実排出量総計	6,100	33.0	2,016	4,084
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方	トッパングループ 2030年中長期環境目標を目指す。 オフセット輪転機3台体制から2台体制による非エネルギー起源CO ₂ 削減 考慮（オフセットインキの溶剤分焼却減によるCO ₂ 削減）			

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：印刷生産量〔千万通し〕

単位：排出量（t-CO₂），原単位量（kg等），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 () 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)							

目標設定の考え方	
----------	--

※ 削減率(d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	電力使用量の削減	電力原単位を1%/年削減	インバーター機器への更新 (コンプレッサー・チラー・空調) ・工場内LED化 ・空調温度管理 ・休息時間の消灯 ・デマンド制御による空調停止
2	CO2排出量の削減	非化石エネルギーによるCO2排出量削減 初年度： 1,006千kwh非化石転換見込み	太陽光PPAサービス導入 (2024年度12月サービス開始予定)
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

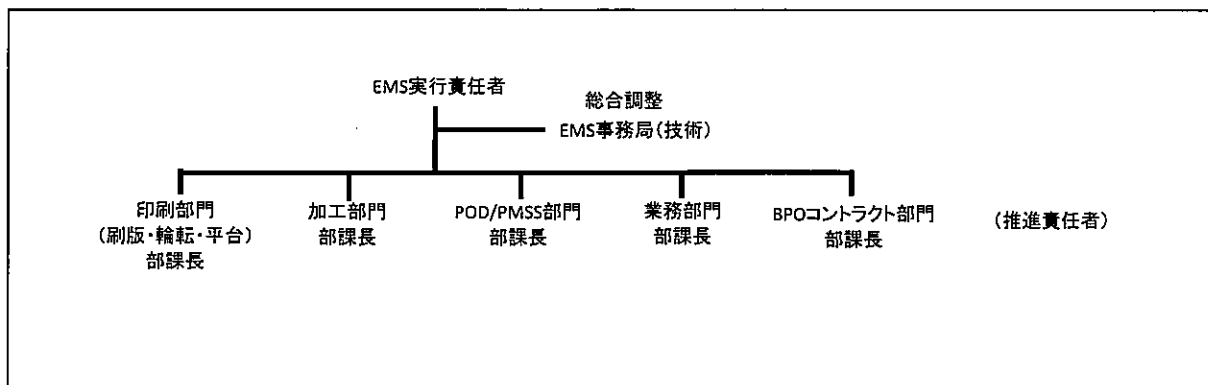
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	ゼロエミッションの実現	埋立廃棄物排出量の削減 リサイクル率を年平均99.0%以上	・再資源化の推進 ・リサイクル率の向上
2	環境汚染の防止	特定化学物質の取扱量を 100kg/年以下に維持・継続	・特定化学物質含有洗浄剤の代替化推進
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

当社の温室効果ガスはエネルギー起源CO₂及び非エネルギー起源CO₂であることから、エネルギー使用量（燃料、電力量）にて管理することとし、毎月のEMS委員会にて評価・見直しを行い継続的改善を図る。

また、温室効果ガス削減計画の取組状況について毎年度末、経営層へのISO14001マネジメントレビューへ報告すると共に評価・見直しを行う。

(3) 計画書等の公表

温室効果ガス削減計画書は、事業所にて環境方針と共に閲覧可能とする。